

八戸地域防災協会懇親会

住宅用火災警報器を設置しよう!



会報

# 防災だより

2009  
VOL.3  
9月30日発行

## CONTENTS

1. ご挨拶	会長 大黒 裕明	2P
2. 八戸地域防災協会の歌		2P
3. ご挨拶	消防長 橋本 壽夫	3P
4. 平成21年度定時総会		4P
5. 第1回防災意見発表会		5P
6. 部会研修会報告	三戸部会長 太田欣一朗	6P
7. 防火管理に関する講習会開催		6P
8. 上半期火災概況		7P
9. 会員事業所紹介コーナー	株式会社 ニュー八	7P
10. 趣味をもとう	副会長 工藤 美登	8P

題字揮毫 大黒会長

# ご挨拶



## 八戸地域防災協会

会長 大黒 裕明

防災便り第3号をお届けします。最近また地震が頻発し、災害に不安が高まっています。大自然の力に我々人間はともた刀打ちできないものの、せめて万一のときに出来るだけ被害を少なくする努力は日々続けなければなりません。どうぞこれからも注意を怠らないようお願いします。

さて、今年の6月に「八戸市総合計画有識者アンケート報告書」が出されました。中に「防災について」の項目が幾つかあり、それによりまず、「消防・救急体制の充実」には高い満足度が得られています。安全・安心に対する意識の醸成はほぼ平均、「市民主体の安全・安心ネットワーク作り」、「災害応急体制の充実」、「災害に強い都市基盤の整備」などはまだまだ低いようです。これらはまさに私達が取り組んでいることで、より一層励む必要性を感じさせられました。どのような取り組み方が良いでしょうか。皆さん方からアイデアをたくさんいただき、実りある活動をしたいものです。どうぞせやるのなら、額に皺寄せ

てストレスを感じながらやるよりも、楽しく大らかに進めたいものです。消防では住宅用火災警報器の普及を図るために音頭を作った、泉柴峯先生に振りを付けていただき、婦人消防クラブの方々に踊っていただく企画を立てました。また、「ダッシュユール」というチームを隊員達で作って、寸劇を交えて防災のPRをしています。どちらも楽しみなが意識を高めるのに役立つと思われそうですので、何かの機会があれば是非出演の依頼をして見られたら如何でしょうか。

負けずと私も協会の歌を作ってみました。何しろ素人ですから幼稚で申し訳ありませんが、お気に召しますでしょうか。会合のときにも歌っていただければ幸いです。別に、これを協会歌として定めるという気はありません。皆さん方の中で、私も作ってみましたという方がいらつしやれば是非ご披露ください。楽しみなが、あるいは面白がりながらする活動が最も理想的で、意識高揚に役立つのです。

## 八戸地域防災協会の歌

作詞・作曲 大黒 裕明

一 緑あふれるわがまち 人の情けもあふれる

この幸せを 守って育てたい

防災、防災、情熱注いで手を繋ごう

防災、防災、八戸地域防災協会

二 海に開けたわがまち 山の恵みもふんだんに

この賑わいを 失くしてなるものか

防災、防災、郷土を守って立ち上がる

防災、防災、八戸地域防災協会

1. みど  
2. うみ

り あふれる わ がまち ひと の なさけも あふれてる この  
に ひらけた わ がまち やま の めぐみも ふんだんに この

し あわせ を まもつ て そだてた い ぼう  
に ぎわい を なくして なるもの か ぼう

さい ぼうさい じょうねつ そをいで てをつなごう ぼう  
さい ぼうさい きょうど を まもって たちあがる ぼう

さい ぼうさい はちの へ  
さい ぼうさい はちの へ

ち い き ぼう さ い き よ う かい  
ち い き ぼう さ い き よ う かい



## ご挨拶

八戸地域広域市町村圏事務組合  
消防本部

消防長 橋本 壽夫

会員の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて私ごと、平成21年4月1日付けをもちまして消防長を拝命いたしました。

もとより浅学非才の身であり、その職責の重大さにやせる思いで業務に当たっておりますが、幸いにも、鍛えられた幹部職員に支えられておりますので、住民生活の安全確保のため、全職員と共に使命達成のため邁進して参る所存でございます。何卒、前任者同様、皆様方のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成20年4月1日に八戸地域防災協会が新たに発足し、早1年と6ヶ月がたちました。この間、協会の事業は役員・会員皆様の熱心な取り組みにより着実に成果をあげられ、消防の仕事に携わるものとして、感謝に耐えないところであり、平素のご精進・ご努力に深く敬意を表する次第であります。

貴協会は、今や千近い事業所の方が会員となり、その事業も事業所の防火管理にとどまらず、地域

や社会の防災のたけに取り組んでおられ、全国に誇れる防災団体であることは間違いなく、これからも消防本部として精一杯のお手伝いをさせていただきます。

私事で恐縮ですが、昭和51年から4年間、警防課（現警備課）勤務時代に八戸市自衛消防連絡協議会を、平成元年4月から3年間、予防課勤務時代に八戸地域広域防火管理者協会、八戸消防設備協会の事務局をそれぞれ担当させて頂きました。

事務局をしていた頃は、機関紙への寄稿のお願い、住民の防火意見発表会の発表者のお願い、防火の集い、防火フェスティバル等への出演依頼等々、当時の役員・会員の方々には、言葉では言い尽くせないほど、大変、お世話になりました。

また、昨年の10月に秋田県大仙市で行われた北海道、東北ブロック緊急消防援助隊訓練視察研修に参加させて頂きました。私が、事務局を担当していた当時、大変お世話になった方も参加されておられ、実に14年ぶりにお会いし大変懐かしく、また、参加した方々と共にした夕食時間は和気あいあいとした話も弾み、飲む酒はおいしく、楽しい視察となりました。

いろいろな人と出会い、たくさんの人達の温かいご支援、ご指導を賜り、職務を全うさせて頂いていることに深く感謝しております。この紙面をお借りして、お礼申し上げます。

今、当消防本部では、住宅用火災警報器の設置促進に努めております。住宅用火災警報器は、火災予防条例により平成20年6月2日から、新築・既存住宅問わず義務設置となり、ポスターやチラシ、設置済みシールの配布、各市町村の広報誌に掲載、街中での婦人消防クラブ員による広報また町内会や各種団体へ呼びかけるなど、いろいろな施策を練って普及に努めて参りましたが、八戸広域消防管内では普及率は約41パーセント（平成21年4月現在）と全国平均より低い状況にあります。

何とかして、さらなる設置促進を図ろうと、職員による寸劇団「防災戦士ダッシュ119」を組織、また、職員が作詞、作曲した「家庭あんしん音頭」という民謡風な曲を作り、踊りの振り付けは日本舞踊泉流の泉紫峰さんに、踊りは婦人消防クラブ員の方々に、歌は南部町在住の南部町商工会にお勤めの久保美幸さんにそれぞれお願いし、演奏の三味線、太鼓は当職員で行い、各事業所や各種イベント会場で披露し普及に努めており、その際、ご協力いただいた方々には大変感謝しております。

今後も住宅火災による死傷者を無くするためにも設置促進を図って参りますので、各事業所さんにおいて催し物等ありましたら、いつでも出向いてご披露させて頂きたいと思っておりますので、消防本部までお声をかけてください。さて、防火管理のお話をさせて頂きますが、火災による死傷者が発生する度に消防法が改正されて参りました。平成13年に発生した新宿での44名の犠牲者を出した小規模雑居ビル火災、平成18年には長崎県の認知症高齢者グループホームで7名が犠牲となる火災が発生しました。

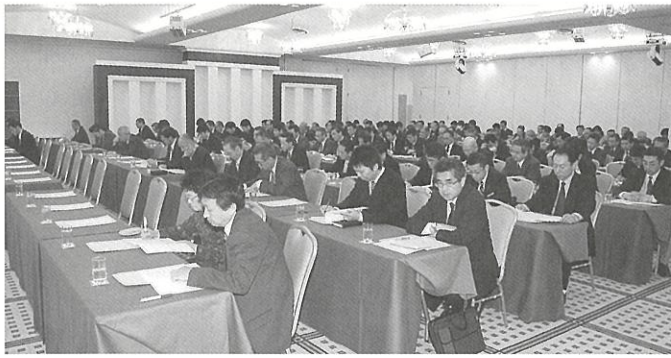
これを契機に大幅な消防法改正となり、ある一定規模以上の不特定多数の人が出入りする事業所に

対して、防火管理者の再講習の義務化、防火管理業務について定期的な点検報告の制度化、消防法違反の事業所に対しては罰則金引き上げと法人へ最高1億円の罰則金を設定するなど、さらに厳しい内容となり防火管理者の責務はますます重要となつてきております。

最近では、大阪でのパチンコ店での放火火災により、4名の方が一瞬にして犠牲となる忌まわしい火災が発生しましたが、お蔭様で当管内では、大きな災害もなく推移しており、これも偏に貴協会の幅広い防災活動と会員皆様の徹底した防火管理の賜と思っております。今後も火災・事故のない安全・安心な事業所を目指して、防火管理者としての責務を果たされますようお願いいたします。

我々消防も、各種災害から地域住民を守るといふ基本的かつ重要な責務を担っており、今後も貴協会を始め、多くの団体のご協力、ご支援を頂きながら使命を全うして参りたいと考えておりますので、何卒、ご協力、ご支援の程宜しくお願いいたします。

結びに、貴協会の益々のご発展とそれぞれの事業所のご隆盛、そして会員皆様のご健勝・ご多幸をお祈り申し上げ挨拶とさせていただきます。



# 平成21年度 定時総会開催

去る、五月十三日（水）八戸プラザホテルに於いて百四十二名出席のもと「平成二十一年度八戸地域防災協会総会」が盛大に開催されました。

総会は、工藤美登副会長の進行で始まり、議事は大黒裕明会長が議長として、平成二十年度の事業結果報告、収支決算など全ての議案が原案通り、承認可決されました。総会終了後、同会場に於いて、当協会設立に際し多大な貢献のあった金谷英夫前消防長を紹介した後、



ご挨拶を頂きました。

また、総会終了後に会場を移し、小林真八戸市長を始めとして多くの来賓を招待して懇親会が行われました。懇親会場では、一般家庭への住宅用火災警報器設置促進のPRのために作詞・作曲・振り付けされた「家庭あんしん音頭」と消防職員扮する防災戦士ダンスで全世帯への早期設置を訴えました。

## 平成二十一年度

### 事業計画

- 1 災害時要援護者支援事業
  - ① 住宅用火災警報器寄贈設置
  - ② 電気・水道、燃焼器具設備等の点検修理
- 2 防火防災思想普及事業
  - ① 火災予防運動用ポスターの配布
  - ② 各種防火チラシの作成
- 3 研修
  - ① 消防用設備等の研修
  - ② 各種施設等の見学
  - ③ 講演会の開催
  - ④ 消火訓練の実施及び各種訓練への参加
  - ⑤ 救命講習の実施
  - ⑥ 防災士の養成
- 4 機関紙の発行
- 5 消防関係資格取得講習会等の後援及び情報提供
- ① 防火管理者新規講習会の後援及び実施の周知
- ② 甲種防火管理再講習の後援
- ③ 消防設備士試験、事前講習会等の情報提供
- 6 防災フェスタ2009の開催
- 7 幼年・少年・婦人消防クラブの育成援助
- 8 加入促進事業の推進



岸 祐也さん（八戸北消防署）

### 「家族の絆で繋ぐ 救命のリレー」

若い女性が「おばあちゃん、死なないで」と叫びながら、意識のない女性の胸を懸命に圧迫している救急現場。到着した岸救急隊員は、救命処置を引き継ぎAEDの電気ショックを開始。心拍・呼吸再開。意識も回復し、呼びかけに答える。

心肺停止となりまさに一分一秒を争う中、家族に普通救命講習の資格を持つ孫娘がいたことで、適切な救急要請など家族が連携しひとつの命を守った、救急現場での出来事について、臨場感あふれる発表でした。

# 第1回 防災意見発表会



小田 勝子さん  
社団法人  
八戸観光コンベンション

5月13日の第2回定時総会に先立ち、「第1回防災意見発表会」が八戸プラザホテルで開催されました。協会員3名のほか、婦人消防クラブ員、消防職員の方々から、それぞれの事業所での防火管理業務を通じての体験や提言、また地域における防火・防災活動などの意見発表があり、その内容と表現力の豊かさに会場から大きな拍手が送られました。

消防本部の橋本消防長から「5名の皆さんは、いずれも内容の濃い、すばらしい発表をされました。それぞれの家庭、職場、また地域の安全・安心のため、一生懸命に活動、努力されていることに対し、敬意と感謝を申し上げます。」との講評があり、発表者そして出席した多くの会員にとりまして有意義な意見発表会となりました。

この防災意見発表会は、地域における防火防災意識の向上と関係団体の融和協調を目的に当協会の前身である八戸地域広域防火管理者協会から「住民の防火意見発表会」として続けられてきたもので、通算では25回目となるものです。

## 「備えあれば 憂いなし」

「七年前に、自宅が全焼しました。お隣の家のコタツからの出火でした。」

意見発表は、真夜中に起きた住宅火災について語る、衝撃的な出来事から始まりました。近くの住人の玄関を叩く音と大声で火災を知らされ、あわてて逃げようとした

た時に、ご主人が枕元に置いてあった薬を持ったのを見て、とっさにバックを片手に持って逃げたことが、財布やキャッシュカード、車の鍵のおかげで、焼け出されたあの生活に大変助かったこと。

火事を教えてもらい命拾いして、普段の近所づきあいが大切であること、さっそく火災警報器を台所に熱感知器、寝室と仏壇のある部屋に煙感知器を設置したことなど、「自分は大丈夫と思っけていても、隣の家は大丈夫でないかもしれない。今一度、備えあれば憂いなし、という言葉を念頭においてみてください。」と、体験からの貴重な教訓を交えたお話しでした。



金 正夫さん  
三菱製紙株式会社  
八戸工場

## 「防災士研修講座に 参加して」

昨年度の当協会事業の一つである第一回目となる防災士養成に、ラビアの佐藤さん、八戸液化ガスの石鉢さんとともに選ばれて、青森市の「アピオあおもり」での受講したことから始まり、防災士誕生のいきさつについて、阪神・淡路大震災、新潟中越地震の大規



木村 高秋さん  
特別養護老人ホーム  
さくら荘

## 「防災に対する 取り組みについて」

特別養護老人ホームさくら荘の概要紹介に始まり、消防法に定められているほか自主的に取り組んでいる災害時対応マニュアルの作成について、新入職員への防災教育について、地域住民の協力による災害協力救助隊についてなど丁寧な内容の発表でした。



模災害について、避難所の開設と運営について、防災士についてなど力強い発表でした。



寺地 恒子さん  
中居林婦人消防クラブ



## 「住宅用火災警報器設置促進」への取り組み について

春・秋の火災予防運動時の防火チラシの配布や町内の警戒巡回、八戸地域防災協会主催の防災フェスタでの婦人消防クラブ音頭の披露など、中居林婦人消防クラブの年間を通じての活動についてから始まり、本題である住宅用火災警報器設置促進への取り組みについては、町内会の回覧板を活用して九百十六世帯の設置状況を調査したこと、希望を取りまとめて共同購入したことなど防災に対するきめ細かな対応についての発表でした。

# 視察研修会に参加して

三戸部会 会長 太田 欣一朗(太田屋旅館)

七月八日、三戸消防署管内の会  
員を対象に視察研修を実施しまし  
た。研修会には、南部町、三戸町  
及び田子町から、初参加の事業所  
を含めた二十六名が参加し、青森  
市内にある青森放送視聴覚センタ  
ーを見学してきました。

当日の朝はあいにくの雨模様で  
したが、みちのく有料道路を出る  
と晴れ間が見えはじめ、天候に恵  
まれました。

青森放送視聴覚センターには十  
一時過ぎに到着しました。私たち  
のほかにも見学や体験学習の高校

生らがあり、日頃テレビで見覚え  
のある男性アナウンサーが案内し  
ていました。ニュース本番の三十  
分前とのことで、私たち一行は、  
あわただしくスタジオ見学に入り、  
本番前の緊張感漂う中、新郷村出  
身というディレクターから説明を  
聞きました。

スタジオの中は思いのほか薄暗  
く雑然としており、天井には様々  
なライトやカメラが設置されてい  
ます。その中で、アナウンサー席  
とその周囲だけがライトに照らさ  
れ、きれいに飾ってありました。

特殊な装置として、中継映像と  
スタジオの人などを合成させる装  
置を見せていただきました。非常  
に高価なものだそうです。また、  
机に置いたニュース原稿を天井の



特殊な装置として、中継映像と  
スタジオの人などを合成させる装  
置を見せていただきました。非常  
に高価なものだそうです。また、  
机に置いたニュース原稿を天井の

## 防火管理に関する 講習会開催

### 428名が資格取得

平成21年度の防火管理に関する講習会は、  
7月9日、10日の二日間(厚生年金休暇セン  
ター)と、8月27日、28日の二日間(八戸  
市水産会館)、二度開催されました。

今回の講習会では、甲種防火管理講習39  
5名、乙種防火管理講習33名の計428名  
の方々が新たに防火管理者の資格を取得され  
ました。

防火管理者については消防法により「一定  
規模以上の防火対象物の所有者等は、資格を  
有する防火管理者を定め防火管理業務を行わ  
せなければならない」とことになっており、本  
講習会はその資格を取得するためのもので、  
主催、八戸地域広域市町村圏事務組合消防本  
部、後援、当協会が毎年実施しているもので  
す。



カメラが撮って、正面に表示する  
装置もありました。アナウンサー  
は、手元を見ず正面に映し出され  
た原稿を見て話すので、視聴者か  
らはカメラを見て話しているよう  
に見える、原稿を暗記しているよう  
に感じられるのです。一  
方、緊急のニュースが入っ  
た場合は、ディレクター  
がアナウンサーの脇から  
原稿を手渡しするそうで  
す。その様子を隠すので  
はなく、慌しさを画面に  
入れることで緊迫感を演  
出することもあると説明  
しておられました。ニュー  
ス本番は別室からガラス  
越しに見ることができま  
した。

日頃、消防の活動を目  
にする機会があり、防火  
防災には関心を持ってお  
りますが、この度の研修  
では、災害情報などを報  
道する側の苦労や工夫の  
一端を知ることができ、  
私達も防災意識をさらに  
強くいたしました。また、普段見  
ることのできない二面を知り、ニュー  
ス番組を見るときには、画面に映  
らない部分を想像しながら楽しん  
でおります。

昼食は、青森市内の飲食店に移



動し懇親会を兼ねて行いました。  
景気の先行きが不安定な中、交さ  
れる話題は明るいものばかりでは  
ありませんが、参加者は情報交換  
するとともに互いに親睦を深め、  
有意義な一日を過ごすことができ  
ました。

準備していただいた事務局の皆様、  
ありがとうございます。次  
回開催時には、是非より多くの会  
員に参加していただきたいと願っ  
ております。

# 平成21年上半期広域圏内の火災概況

(1月1日～6月30日)

平成21年上半期中における火災の発生状況は、総出火件数が81件で、前年同期に比べ6件減少となった。火災種別は、建物火災51件（前年同期比2件減）、林野火災10件（同2件減）、車両火災4件（同3件減）、その他の火災16件（1件増）となっている。死者は4人で前年同期と同数、負傷者は16人で5人増加した。り災世帯は47世帯で、り災人員は130人となった。

火災の損害額は1億9,155万2千円で、前年に比べ6,026万7千円増となった。(△は減少)

区分	平成21年上半期 (A)	平成20年上半期 (B)	増減 [(A)-(B)]
総出火件数	81	87	△6
火災種別			
建物	51	53	△2
林野	10	12	△2
車両	4	7	△3
船舶	0	0	0
航空機	0	0	0
その他	16	15	1
焼損棟数(棟)	91	88	3
建物焼損面積(m <sup>2</sup> )	5,061	3,911	1,150
林野焼損面積(a)	430	781	△351
死者(人)	4	4	0
負傷者(人)	16	11	5
り災世帯	47	48	△1
り災人員(人)	130	127	3
損害額(千円)	191,552	131,285	60,267

## 会員事業所紹介コーナー①

第1回の登場は、防火管理専門部会 5部会の「株式会社ニュー八」さんです。

社長の八田峰宗さんから、お話を伺いました。今年の10月で創業50周年を迎えられるそうです。おめでとうございます。「ニュー八」



は、弁当、仕出し、回転寿司や学校の食堂など皆さんに食事を提供する事業をしているそうです。中でも全国的に有名な八戸駅弁の「菊ずし」は1999年から3年連続で世界のモンドセレクション金賞を受賞、その翌年には「いちご煮缶詰」が受賞となったそうです。

皆さんも、一度ご賞味されては如何でしょうか。ご用命の際はこちらにお問い合わせください。

「株式会社ニュー八」

住所 八戸市北白山台二丁目1-16

TEL 70-2883

## 新規事業所紹介

平成二十年加入

株式会社 小泉

(株)オリワン きざん八戸

有限会社 北のグルメ都市

八戸泌尿器科医院

(株)オーランド グループホームオーランド

医療法人南六会 グループホームサイウン

有限会社 重建工業

高明寺

川守田外科胃腸科

有料老人ホームひばりの

(株)友和ホンダ販売 湊高台店

平成二十一年加入

根岸保育所

(株)三商事 コリヤンハウスきりん亭

橋本耳鼻科クリニック

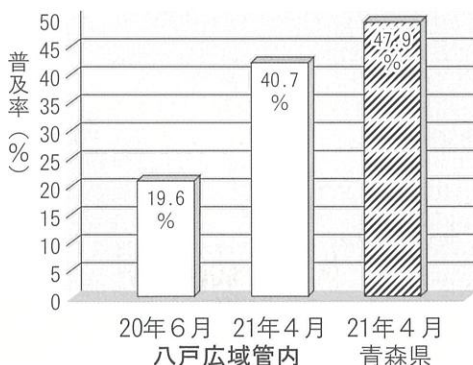
学校法人あずま園 八戸歯科衛生士専門学校

(株)カミエーネバーランド沼館

はるみ眼科・循環器内科クリニック

二〇〇九年九月現在

総会員数九六六事業所



平成20年6月から全ての住宅で住宅用火災警報器の設置が義務化となりました。

広域管内の普及率は、平成21年4月17日現在40.7%で、義務化となった日から21.1%増加しています。青森県の普及率47.9%（県内14本部中10番目）と比べ、まだまだ低い状況にあります。

住宅用火災警報器の設置こそが住宅火災による死者を減らす「切り札」と考えています。まだ設置していないご家庭では、早期に設置しましょう。

つけましたか？  
住宅用  
火災警報器!!

平成20年6月から全ての住宅で住宅用火災警報器の設置が義務化となりました。

広域管内の普及率は、平成21年4月17日現在40.7%で、義務化となった日から21.1%増加しています。青森県の普及率47.9%（県内14本部中10番目）と比べ、まだまだ低い状況にあります。

住宅用火災警報器の設置こそが住宅火災による死者を減らす「切り札」と考えています。まだ設置していないご家庭では、早期に設置しましょう。



# 趣味をもとつ

No. 1



— 冬の奥入瀬 —

趣味をもとつ。  
(このひとつ カメラ)

渋柿もと

重要無形文化財「八戸えんぶり」があり、春には桜やリンゴの花が咲き誇り、大空にはウミネコが舞い、そして八月には日本一の山車まつり「八戸三社大祭」が催される。初秋の爽やかな潮風を受けながら日本の白砂青松100選・同遊歩100選の種差海岸をカメラ片手に散策できる八戸は日本一、いや世界

中一番いいところだなあと思う。(日本から出たことほとんどありませんが...)。で、六割以上の勤労者が職場で強いストレスを感じているといわれています。世の中、所属・集団、仕事の適応感など環境の変化からうつ病をはじめとするストレス疾患も増加傾向にあるといわれています。

人間は、環境の変化に対応できる動物だと。「うつ」にならない一方策として趣味を持つことだと思う。できれば、一人でできる・団体でもできる趣味があればよいと思う。

この一つがカメラです。

私のカメラ歴は結構長い。白黒時代からカラーになり、今の主流はデジカメとなっているが、いまだにしつこくフィルムカメラを愛用している。

しかも、私の写真は、写真を撮るために出かけるのではなく、出かけたついでに写真を撮る、いわゆる「ながら写真」です。

なぜ「渋柿」か。柿には「帯へタ」がついている。私の写真は、へタがついたまま、へタのまま固まったのだ。でも私の好きな写真だから、コンテストなどへは一切出展しない。自分で、仲間で楽しんでる写真です。

仲間の写真クラブの一つには「虹の会」(八戸市)があります。この会は、白黒・デジカメ・プリントの大きさ、問わずだから好きです。

高級カメラ?一眼レフ?いやいやや写れば、いわゆる「バカちゃんカメラ」など何でも良いのです。高級カメラではなく「ウデ」で撮るのです。

いやいや あちこち歩き・徘徊?しながら「足」で撮るのです。いやいや違う「心」で撮るのだ。

(副会長 工藤美登)

総会後の懇親会場で、披露された

## 「家庭あんしん音頭」

作詞 太内田 和美

作曲 窪田 淳

唄 久保 美幸

振付 泉流日本舞踊

泉 紫峰



一 ハアア アアア

巷で噂の 粋な奴

あなたの 命を 守ります

父さんダメダメ 寝タバコは

家族の安心 笑い顔

ソーレ ピーピー 住警器

ソーレ カンカン 火の用心

付けて良かった 火災警報器



表紙Photo

総会後の懇親会場での

## 小劇場「救われた命」

開幕 酒に酔ったサラリーマンが

千鳥足で帰宅

寝タバコから出火

火災に包まれる寝室

そこに現われる三人の

防災戦士ダッシュ119

サラリーマンを決死の救出、救命

救急、消火成功

ラスト 住宅用火災警報器設置促

進を呼びかける

